

第24回 図書館とともにすすめる まち・教育・情報の未来



図書館総合展2022

— ONLINE — **plus** (おんらいん ぷらす)

出展説明会

「〈今年はイベントで集客を〉という皆さまへ」編

図書館総合展運営委員会

お問合せ先：LF@j-c-c.co.jp

■本日のすすめかた

- だいたい1時間を予定。
- 見逃し視聴の方用YouTube公開のため録画させていただきます。
- ご質問は、zoomのチャットか（できるだけ時間内に回答）
- 共有ドキュメントか（詳しく回答） <https://bit.ly/3IITLXs>
時間中にお答えしきれないもの、またより詳しい回答を、説明会后、共有ドキュメント上におきます。
- お問い合わせへ（こっそりっぽい問い）
<https://www.libraryfair.jp/contact>
- 小展へのご要望も同様です（◆wish◆）
- 挙手発言も受け付けます（ミュートを外してお声かけを）

■本日の説明会

- 本日のすすめかた
- (始めての方には) 小展ご紹介 (おなじみの方にはおさらい)
- 今年の開催形式と力点
- 運営委よりご提供するもの／しないもの、出展者にご用意いただくもの
- **総合展ONLINEイベントのいま_1.現時点の難点**
- **総合展ONLINEイベントのいま_2. 上手くいった作戦と今年のしかけ**
- 開催までのスケジュール
- 質疑応答

■小展ご紹介（これまでの振り返り）

- 小展は（2019年まで）毎秋、パシフィコ横浜（ホールD+アネックス）を会場に、3日間の会期、のべ3万人の来場、300～400の出展、90の講演（200人教室×10～12×1日3コマ時間割制）で開催してきました。館種を越え、立場を越え、テーマを越えて集まる図書館イベントは他には多くなく、この種のコンベンションでは日本最大です。
- 2020年からは時世の影響を受け、コンテンツ（展示・イベント・ワークショップ・LIVEなど）を全面オンラインで開催しています。会期は1カ月間（後述：出展者さまのPRご利用は1年間可です）。限定コンテンツもみられる登録ユーザーは、2022年5月時点で14,254となっています。
- オンライン化の経緯と収穫については、**CA1996、「社会教育」2021年11月号**にご報告させていただいております。

■現在の形式の価値と評価1

・オンライン化で獲得しているもの：

- ★学校図書館、ワンパーソン・ライブラリー、非正規さん、遠方の皆さまのご参加が増えました。
- ★「図書館にまだ少ししか関わっていない（しかし近々近しくなろう）」という方々」のご参加が増えました。
- ★図書館界のIT促進に微力ながら貢献できたかと思っています。

・オンライン化で失っているもの：

- ★同じ立場の同志との偶然の出会い。
- ★違う館種の方々と同席・相席・出会い。
- ★後輩、新人への人脈とノウハウの引継ぎ。
- ★参加者さんの集中力をつくりきれず、また参加者さんの時間をやみくもに奪ったおそれもあります。
- ★そして、、、何かが足りない。

■現在の形式の価値と評価2

- **オンライン化でも継がれている価値：**
 - ★発表・営業を通じたコネクションの形成。
 - ★「他館種、近隣業界から情報収集しておくことは極めて有益」という感覚。
 - ★〈業者-図書館〉の間が近しく親しい祝祭期間としての小展。
- **2022年開催で奪還また獲得をねらっている価値：**
 - ★復活するリアル（対人、対物）への肩慣らし。
 - ★withコロナ、postコロナの営業・広報スタイルを試行錯誤。
 - ★後輩、新人への人脈とノウハウの引継ぎ。

■今年開催形式と力点

1. 期間内ひいては年間通じた作戦でPRできる **オンライン開催**
2. 司書のひとり一人、全国各所が会場になる **サテライト会場開催**
3. ひさしぶりと新たな出会いで次を拓く **カンファレンス会場開催**

の3本立てです。

【力点】

「雪解けの水は美味しい」「久しぶりに会うあの人はいい人」

「**今年**の**出会い**は**値千金**」という感覚、時の利をおおいに味方にしてください、しましょう。

■運営委よりご提供するもの／ しないもの、出展者にご用意いただくもの

- ご提供するものは、**場とインデックス**、**広告・広報・告知**、**場の盛りあげ**、**機会**です。
- サーバー上に**出展団体ページ**と**イベント案内ページ**ほかをご提供します。
その外つまりリンクで自社サイトなどに拡げるのはもちろん自由です。
- **イベント（フォーラム）は各自で制作していただき（YouTube、Teams、Zoomなど）、小展サイト内でリンクを示すしくみです。**
- ご提供するページは、各出展者が**随時編集**できるかたちです（wordpress 程度の作業）
- **開催案内冊子**（タブロイド判、9月下旬発行）、**メルマガ**（週刊、36,400件）、**SNS**でご出展とイベント情報を拡散します。
- **運営委員会主催企画**も使い倒してください。

(といつつ)

■ほんとうにご提供するものは

- 出展者さまが内部外部の各方面へする **ご説明**の肩代わり
(と責任転嫁)
- **失敗**していい機会
- **きっかけ**

■昨年からのupdate

1. 公式webサイトのPR利用が、年間お使いいただける体制になりました。
2. 「サテライト会場」の実施内容が、より“自由”になりました。
3. 「見学会ONLINE」は発展的解消します（サテライト会場企画に吸収）。
4. 会期中2回程度、1dayの集合会場（カンファレンス）を設けます。
5. ブースツアーONLINEを拡大運用します。
6. アカウント登録とメルマガ登録が一体化しました。
7. マイアカウント管理を変更しました。
8. 出版社がオンラインの本展にも入ってきます。
9. 対外拡大政策をすすめています。

★詳細は5/25「引き続きご出展の皆さまへアップデートした点などを」回の記録で

■ 総合展ONLINEイベントのいま

1. 今の時点での難点

1. ◆リアルタイム視聴数が稼げずorz

- ・ 平日日中オンラインで自由に聴けるのは大学職員の方など。
- ・ 平日夜は…意識の高い人耳だけ。また耳だけ。
- ・ 「LIVE+アーカイブ視聴」の合計で数を稼ぐ、と割り切る。
- ・ 録画動画公開だけだと、なぜか伸び悩んでおられます。

2. ◆定型の「90分講演」がキツイ

- ・ 1セッションは“少し物足りないくらいの”50分が、現時点では程良いくらいか…
- ・ (ポスター出展以外のみなさんは) 分割して連続開催で。

■ 総合展ONLINEイベントのいま

1. 今の時点での難点_2

3. **◆参加者のリードがとれない。**
 - ・（自社・団体の条件が許せば）運営委員会の「参加申込ボタン」をご利用下さい。
 - ・資料ダウンロード等の部分にゲートを。
4. **◆YouTube公開動画のPVが上がらない**
 - ・公開開始日と期間を決めたほうがPVがあがります。
5. **◆大先生を講師にお呼びしたのに…**
 - ・会場開催のときから本展はそういう傾向です。
 - ・「実務者」「遠いところ」「奥の方から」がアタる傾向にあります。

■ 総合展ONLINEイベントのいま

2. 上手くいった策と今年のしかけ

1. 手持ちライブカメラで中継onZoom (LIVE)
2. ふだん視聴制限のあるものを限定公開 (動画公開)
3. リストで一気に公開 (動画公開)
4. 観客のいる場で対談、それを放映
5. ゲーム的に
6. サテライト会場を貸してもらって開催
7. 恐怖のclosed連続ゼミ
8. オフラインで用意してきたものを持ち寄ってLIVE本番
9. 年間でご利用を

■1 手持ちライブカメラで 中継onZoom (LIVE)

- chatやvoiceで質問を受けるスタイル
- <https://www.libraryfair.jp/forum/2020/f276>
- <https://www.libraryfair.jp/forum/2020/f258>
- 今年は「サテライト会場にご登録」から。
- <https://www.libraryfair.jp/news/2022-05-11>

■ 2 心だん視聴制限のあるものを 限定公開（動画公開）

第24回 図書館とともにすすめるまち・教育・情報の未来
Library Fair & Forum 図書館総合展2022
ONLINE plus (おんらいん ぶらす)

- 校内関係者限定など
- https://www.libraryfair.jp/online_tour/2020/25

■3リストで一気に公開（動画公開）

- 「一気に見て回れる感」のあるものが人気です。
- <https://www.libraryfair.jp/poster/2021/29>
- <https://www.libraryfair.jp/booth/2021/68>

■ 4 観客のいる場で対談、それを放映

- やはり話し手の迫力が違ってきます。
- <https://www.libraryfair.jp/forum/2022/305/series>

■5 ゲーム的に

- 「ゲームの」というより、「イベント時間内の注意の惹きつけ方や全員を巻き込むことの」職人集団です。
- <https://www.libraryfair.jp/booth/2021/60>
- たとえば
<https://www.libraryfair.jp/forum/2020/f301>
- 連携などご検討を。

■6 サテライト会場を 貸してもらって開催

- リアルで会う昂りも兼ねられます。
- 巻き込み人口は多い方が好いです。
- <https://www.libraryfair.jp/forum/2021/214>
- <https://www.libraryfair.jp/satellite/2021/1>

■ 7 恐怖のclosed連続ゼミ

- 「少人数で構わない、濃密なコミットが欲しい」という場合に。
- <https://www.libraryfair.jp/forum/2020/f223>

■ 8 オフラインで用意してきたものを 持ち寄ってLIVE本番

第24回 図書館とともにすすめる まち・教育・情報の未来
Library Fair & Forum **図書館総合展2022**
_ONLINE_plus (おんらいん ぶらす)

- ごく簡単な予習・宿題を出して、コミットを高め、また本番の時間を節約する
- <https://www.libraryfair.jp/feature/2021/38>
- <https://peatix.com/event/3214026/view>

■9年間にご利用を

- (ポスターセッションの方以外は) 年を通じてイベントをPRしていただけます。
- 非常にお得な広告広報枠です。
- 動画・資料等のアーカイブ置き場にもお使いいただけます。

■開催までのスケジュール

- 5月23日：サイトリニューアル（年間イベント告知体制へ）
- 7月中旬：2022年ページに切り替わります。ここまでにお申込みいただければ最初からtop表示です（2020年以前のコンテンツはアーカイブ公開に移行します）
- **～8月31日：出展申込×切（開催案内冊子へ掲載するなら）**
- ～9月10日頃：開催案内冊子校了（イベント開催日・タイトル・「募集！」など掲載したい情報をこの日まで）
- **9月下旬：開催案内冊子全国送付（フォーラム受付開始）**
- 11月1日～30日：会期（特集日を設定）

■まずは

- お申込みを！
- 出展料：
一般 = ¥220,000 (税込)
非営利 = ¥110,000 (税込)
ポスター = ¥11,000 (税込)
- **お早めに！ 申込時より1年間、メルマガ・webページ・SNSをお使いいただけるからです。**
- **サテライト会場（後述）にもご登録いただけますと効果倍増です。**

■開催案内冊子

- 今年もタブロイド判4c8p構成（予定）です。
- 8月20日～9月13日頃まで編集、9月末全国発送です。
- 発行部数 30万部
- **紙面広告、折込広告についておってご案内します。**
- **図書館周縁、図書館外へのPR、問いかけを重点課題においています。**
- 今年はイベントページ配布数に制限がないので「9月9日決定分」までしか掲載できません。…配布後はwebサイトを参照していただくかたち。

■ 質疑応答など

- 個別の相談会も承っております。
- 質疑記録をこちらに残します（順次改訂）
<https://bit.ly/3IITLXs>
- この説明会の動画はこちらから
<https://www.youtube.com/channel/UCvKAycXbwtCFLrsdsZe89nA>
-

みなさまのご出展をお待ちしております。